



菌学新聞

2023年
9月号

9月になりました。今回は「ヤマブシタケ」を使用した新商品のご案内です☆
ヤマブシタケとは、九州大学の清水邦義准教授他の研究チームにより発表された学術論文によると、アルツハイマー型の抗認知症効果が臨床試験によって認められており、機能性をつかさどる成分としてヘリセパン類の関与が認められているキノコです。第62回日本東洋医学会においては、ホクトと水嶋クリニック水嶋丈雄院長の共同研究「ヤマブシタケの抗認知症効果」が発表されました。アルツハイマー型認知症等の10人の認知症患者にヤマブシタケを摂取してもらう一方、他の認知症患者10人には、市場シェア8割を占める認知症進行抑制薬(ドネペジル)を飲んでもらい、2年経過を見ました。結果、ヤマブシタケ摂取患者は簡易認知症スケールのスコアが1年後に平均2.8ポイント上昇、24か月後には平均3.9ポイント上昇。一方、ドネペジルの場合はスコアが1年後に平均0.6ポイント低下、24か月後には平均2.2ポイント低下。抗認知症進行抑制薬と比較して、ヤマブシタケはスコアの上昇率も高い上、効果が長期間持続することが証明されたのです。

毎日に菌食を



ヤマブシタケ

脳の健康に不可欠なNGFを豊富に含有。商品化できました！サンプルをご入用の方は、お電話もしくはメールにてお申込みください(^^♪

今月の報告

吉井菌学研究所でこの度販売を始めた「ヤマブシタケ」の商品名は「あたまのげんき」となりました！1日あたりわずか1.6g。商品をお買い上げいただいた方のうち、ご希望される方にサンプルを差し上げます。新聞裏面をご覧ください！

お知らせ

- サンプルをご用意しています。お友達や、ご家族の健康が気になる時は、サンプルを配送いたします。

あとかき

ヤマブシタケの持つ力をわたくしも早速試しています。香ばしく、ほんのり甘い味わいです。効果のほどはぜひお試しください。

吉井園子



F A X 注文用紙

お客様情報			
氏名			
住所	〒 -		
電話番号		F A X	
メールアドレス			
お届け先氏名			
お届け先住所	〒 -		
電話番号		F A X	



ヤマブシタケは、写真のように、傘も枝もない丸い球状のキノコです。

山伏が胸に掛けているボンボンのような形状をしていることから、ヤマブシタケと呼ばれています。

白ウサギが長い房を垂らしてうずくまったような珍しい形をしており、別名としては「ウサギ茸」とも呼ばれます。

◎豊富なβ-グルカン

中国では400年前から食されており、豊富なβグルカンを含有しています。粉末100g中、約25.9gのβ-グルカンが含まれていることがわかっています。βグルカンは強力な免疫力アップで知られています。

◎記憶力に欠かせないヘリセノン

ヘリセノンはヤマブシタケにしかないと言われている物質です。ヤマブシタケ固有の成分であるヘリセノンは動物の学習能力や記憶力のネットワークに欠かせないものです。学術研究でもヤマブシタケの効能が注目されています。

◎幻のキノコ

江戸時代、貝原益軒の書の中で、ヤマブシタケを「鹿の玉」と紹介しており、また別の江戸時代の学者は、「大酒のみのキノコ」とも記しています。